

新年のご挨拶

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

弊社は昨年 4 月に開業し、多くの皆様の温かいご支援のおかげで、無事に新しい年を迎えることができました。心より深く感謝申し上げます。

本年はさらなる飛躍の年とすべく、ご提供する各種サービスの拡充に注力してまいり所存です。特に「企業マッチング」のご支援を通じ、皆様のビジネスの発展に一層貢献できるよう、精一杯努めてまいります。

本年も変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。
皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

中海アドラー

代表 鷺見

剛

新年のご挨拶

米子商工会議所

会頭 坂口 平兵衛

令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年11月には、任期満了に伴う役員・議員の改選を行い、新たな陣容でスタートいたしました。

本年も引き続き、役員・議員をはじめ、会員各位のご協力のもと地域経済の振興に努めてまいる所存です。

さて、我が国経済は賃上げや物価・金利の上昇がみられる一方、米国による関税措置など、依然として不確実性の高い状況にあります。併せて、人手不足や、最低賃金の引き上げによる労務費の増加、さらには消費低迷など数多くの課題に直面し、中小企業・小規模事業者は極めて厳しい経営環境にあります。

当地においても、人手不足が深刻化しており、賃金の上昇・待遇改善と価格転嫁や生産性向上をいかに両立させるかが喫緊の課題となっております。このような中、昨年は長年の懸案であった、中国横断自動車道岡山米子線の未整備区間である米子―境港間高規格道路について、国土交通省が「計画段階評価」に着手し、複数のルート案が提示されるという大きな前進がありました。将来、この道路整備は物流機能や交通利便性の飛躍的な向上に加え、災害時の安全性強化、観光振興、産業活性化に繋がるものであり、地域の未来を切り開く基幹インフラとして大いに期待されます。

米子商工会議所は、地域企業の発展と持続可能な地域経済の実現を目指し、自己改革に挑戦される中小企業・小規模事業者の取り組みを関係機関と連携し後押ししてまいる所存です。特に、中小企業の生産性向上支援、DX・GXの推進、創業・事業承継支援の拡充、観光振興と交流人口の拡大、地域ブランド力向上、多様な人材が活躍できる環境づくりなど、企業の皆様が未来に向けて安心して前進できる支援を一層強化してまいりますので、引き続き会員企業をはじめ関係各位の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員企業の皆様の益々のご繁栄と本年が明るく活力に満ちた年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

令和8年 元旦

将来へ向けた確かな一年に

境港商工会議所

会頭 三輪 陽通

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年11月に行われた境港商工会議所役員の改選で、堀田収会頭を引継ぎ、会頭を拝命いたしました。新たに選ばれた3人の副会頭を始め役員・議員や会員の皆様と力を合わせて地域経済発展のため、最大限の努力を傾注いたします。

境港は豊かな自然と歴史、そして何よりも温かい人々に恵まれた誇るべき地域です。特に近年の発展は目覚ましいものがあります。境港がなぜ発展していくのかを考えた時、地理的な優位性もありますが、人間味あふれる豊かな地域性が大きく関係していると思います。

境港には外部の人間や新しい価値観を柔軟に受け入れる力があります。私も50年前に家族と境港に移り住みましたが、この地に育んでいただき今があります。この境港の強みを遺憾なく発揮できるよう努めてまいります。

また、境港には諸先輩方が苦勞して築かれた大きな基盤が数多くあります。水産、観光、港湾・国際ターミナルなどの物流、空港、どれ一つ取つても基幹産業となり得るインフラを、この小さな町はいくつも持っている全国でもまれな地域と言えます。

今後は、これらを最大限に活用して、いかに将来の境港の発展に結びつけていくのかを追求する時代になります。このような中で、どのように人と人を繋げていくのかといったことが、私の大きな意味での役割であると考えています。

就任早々ではありましたが、昨年11月には伊達憲太郎・境港市長はじめ市の幹部の皆さんと懇話会を行い、境港市の大まかな方向性を伺いました。

まずは、様々な立場の人の声を良く聞き、何をすべきかを見定め、商工会議所のビジョンや方針を固めていく所存です。また一方で、地域や圏域の課題については関係諸団体との連携を密に、立ち止まることなく前に進めてまいります。

どうか、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、良い年となりますよう、お祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

皆生温泉旅館組合

組合長 伊坂 明

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は皆生温泉に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年はインバウンドも回復し宿泊客も徐々に戻ってまいりました。

また、米子⇕台湾便の定期運航、昨年12月からの米子⇕ソウル便のデイリー運航により今後ますますインバウンド需要が期待できます。

皆生温泉海水浴場も「皆生温泉海遊ビーチ」にリニューアルし5年目を迎え、大勢の地元の方、観光客の方でにぎわい、「皆生温泉ミニ打ち上げ花火」でも、多くの地元の方、観光客の方に夜空に舞う花火の景色を満喫していただき大変喜んでいただきました。

また、皆生温泉は皆生温泉エリア経営実行委員会を立ち上げ官民連携で皆生温泉のまちづくりを進めており、地元の皆様のご理解・ご協力のおかげで遊歩道の外灯もリニューアルし、昨年は遊歩道の整備にも着手いたしました。さらに、9月には産官金連携による「皆生温泉の再生及び活性化に係る連携協定」を締結し、皆生温泉の再生・活性化に向け、「持続可能な温泉地づくり」をテーマに地域課題の解決に取り組んでまいります。

皆生温泉旅館組合は皆生の街全体がこれからも、地元の方のみならず、観光客の方からも愛され、親しまれる温泉地を目指してまいりますので、どうか本年も変わらぬ格別のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

米子市観光協会

会長 伊澤 勇人

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は米子市観光協会事業の推進につきまして、格別のご高配を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、米子市および鳥取県西部エリアの夏期集客コンテンツとして開設しております「皆生温泉海遊ビーチ」は、全国的な猛暑や繁忙期の悪天候の影響もございましたが、夜の砂浜を活用した「KAIKE 夜あそ BEACH」や、光と音楽を融合させた大規模な幻想的シャボン玉ショー「NIGHT BUBBLE 2025 in KAIKE」が大変好評を博し、最終的なビーチ利用者数は昨年を上回る約9万3千人に達しました。その結果、大手旅行サイト「山陰・山陽のビーチ・海水浴場ランキング 2025」において、4年連続第1位に選出されるという喜ばしい評価を頂戴いたしました。

皆生温泉海遊ビーチの開設は、地域住民の皆様をはじめ、地元漁業者、観光事業者、行政関係者など、多くの皆様のご支援とご協力により実現しているものであり、この場を借りて改めて深く感謝申し上げます。今後も、皆生温泉のみならず米子市内全体への宿泊誘客と地域活性化の核として、環境保全に努めながら、春期の「カイケジャンボリー」や冬期の「寒中水泳」など、海・砂浜の通年利用を目指した取組を一層推進して参ります。

併せて、米子の三大名物として「牛骨ラーメン」「さばしゃぶ」「475パフェ」を掲げ、地域の魅力発信にも注力しております。昨年は大阪・関西万博会場にて牛骨ラーメンを提供し、多くの来場者にご賞味いただくなど、手応えを感じる機会となりました。今後も地域食としての定着化と認知度向上に向け、情報発信や普及促進、さらに当地での食を通じた消費拡大に努めて参ります。

また、「ダイヤモンド大山観望会」に合わせて関係者のご協力のもと「観光おもてなし清掃 in 米子城」を実施し、来訪者が快適に過ごせる環境づくりに取り組ましました。「米子城跡」は将来的に重要な観光コンテンツとなり得る素材であると考えており、今後も定期的な清掃活動を通して魅力向上に取り組んで参ります。

さらに、昨年5月の米子台湾便就航、10月の米子ソウル便デイリー運航開始により、当地域へのインバウンド増加が見込まれます。これを好機として、当協会としても関係者一丸となり、さらなる観光誘客の促進に努めて参ります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年が実り多い素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

鳥取西部農業協同組合

代表理事組合長 中西 広則

組合員ならびに地域の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より当JAの事業活動に対し温かいご支援とご協力を賜り、役職員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

昨年の農業情勢を振り返りますと、令和6年に引き続き米市場の混乱は、令和7年にかけても改善が進まず、全国的な課題となりました。政府は備蓄米の大規模放出や市場動向を注視しながら調整的な放出を継続するなど、主食の安定供給に国を挙げて取り組んだ一年でした。このような状況の中、当JAでも長年続けてきた、独自の直売方式を見直し、令和7年産よりJA全農ととりへの委託販売へと切り替える大きな方向転換を行い、生産者が安心して生産できる仕組みづくりや、生産者所得の確保と販売力強化を目的とした重要な決断を行ったところです。

また、昨年は夏の記録的な猛暑により、管内農作物は大きな影響を受けました。白ねぎでは高温障害による生育遅延が顕著となり、出荷量が減少するなど、生産現場の厳しさが改めて浮き彫りになりました。近年、突発的な豪雨・干ばつ・病害虫の発生増加など、異常気象が営農に及ぼす影響は年々大きくなっておりますので、気象災害に強い営農体制の構築に向け、技術指導や情報提供の充実など関係者が連携強化に引き続き取り組んでまいります。

加えて、農業を取り巻く環境は依然として厳しく、肥料・燃料・資材価格の高止まりに加え、農畜産物の価格転嫁が進まない状況が続いております。農水省が進める「フェアプライスプロジェクト」は、再生産可能な所得を確保し、適正な価格形成を進めるための重要な取り組みであり、JAもその推進に積極的に関わっていかねばなりません。農畜産物の価値を正しく評価いただくための情報発信や、価格転嫁に向けた働きかけを強化し、生産者が安心して営農を続けられる環境づくりを進めてまいります。

さて、農と食のフェスタは、昨年第10回という節目を迎え「未来へつなぐ農と食のチカラ」をテーマに掲げ開催しました。コロナ禍で2回の中止を経験しながらも、地域の“農”と“食”をつなぐ重要な役割を果たし、食・パライス鳥取県の魅力を広く発信する取り組みとして高い評価をいただいております。また、直売所アスパルでは令和7年12月9日に累計来店者数1,500万人を達成いたしました。平成14年の開店以来、長年にわたり地域の“食の拠点”として親しまれてきた証であり、生産者と消費者の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和8年は、第9次中期経営計画に掲げる「持続可能な経営基盤の確立・強化」と「組合員サービスの継続」を柱に、メインテーマの「社会の変化に対応できる力をつけ、必要とされるJAに」の実現に向け、総仕上げの一年として、役職員一丸となって事業運営に取り組んでまいります。厳しい環境下ではありますが、組合員の皆様とともに地域農業の発展と豊かな地域づくりに貢献できるよう取り組んでまいりますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和8年が皆様にとりまして健やかで幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

年頭のご挨拶

株式会社 清水設計

代表取締役 清水 幸憲

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

私たちを取り巻く社会環境は、人口減少や気候変動、価値観の多様化など、大きな変化のただ中にあります。こうした時代にあつて、鳥取県のような地方圏こそ、新しい暮らし方や地域のあり方を示す重要な舞台であると考えております。

当事務所では、これまで培ってきた設計技術と地域ネットワークを生かし、地元材の活用や自然環境との調和、そして地域コミュニティを育む建築のあり方を探求してまいりました。建物が単に機能を果たすだけでなく、「人と地域と自然」をつなぐ場として息づくことを目指しています。

昨年を振り返りますと、建築・設計を取り巻く環境は大きな転換期を迎えた一年でした。社会全体で持続可能性への意識が一層高まり、省エネや環境配慮型の設計、さらには地域性や文化を生かした建築のあり方が改めて問われております。

本年も、変化する時代の要請に応える柔軟な発想と確かな技術をもって、設計の品質向上に努めるとともに、安心・安全で快適な環境づくりに邁進してまいります。また、社会課題の解決に貢献できる建築の可能性を追求し、地域と共に成長する設計事務所を目指してまいります。

本年が皆様にとりまして、実り多く、飛躍の一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年も変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

株式会社 大協組

代表取締役 小山 典久

旧年中は格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のお力添えにより、当社は建設事業と温浴施設運営の両面で着実な歩みを進めることができました。

昨年は、社会全体がポストコロナの安定期に入り、地域経済の回復が本格化した一年でした。建設業界では、インフラ整備や住宅需要の変化に対応しながら、品質と安全を第一に取り組んでまいりました。また、温浴施設では、健康志向や観光需要の高まりを背景に、多くのお客様に癒しの時間をご提供できたことを嬉しく思います。

一方で、労働力不足や資材価格の変動、環境負荷低減への対応など、課題も少なくありません。こうした中で、当社はDXの推進、省エネ技術の導入、カーボンニュートラルへの取り組みを加速させています。建設現場ではICT活用による効率化を進め、温浴施設では再生可能エネルギーの利用や省エネ設備の導入を進めることで、持続可能な事業モデルを目指しています。

令和8年は、地域に根ざした企業として「安全・安心・快適」をキーワードに、さらに価値あるサービスを提供してまいります。建設事業では、災害に強い街づくりや環境配慮型の施工を推進し、温浴施設では、地域の憩いの場として、健康増進や観光振興に貢献していきたいと考えています。

本年も、皆様との信頼関係を大切にしながら、社員一同、誠心誠意努力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

皆様にとって、健やかで実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶

カネックス株式会社

代表取締役 金田 孝成

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしく願っています。

先人の教えに則り、我々は常に前を向いてまいりました。

昨年は皆様に変化のお世話になり、誠にありがとうございました。

アメリカの政局が安定し、国際紛争も収まり、原油は下落。

高市新政権のもと、責任ある積極財政が功を奏し、経済に明るい兆しが見え始めました。

我が社といたしましては、この流れを受け止め、社員一丸となって、製品・サービスを通じて皆様のご満足をいただけるよう努めてまいります。

皆さま、そして我が国や地域の皆様にとっても、今年が素晴らしい一年となりますよう、心より願っております。

今年も、どうぞよろしく願っています。

新年のご挨拶

株式会社エスジーズ

代表取締役社長 今出 上

令和8年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より皆様から温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も大雨や台風、地震などの自然災害が全国各地で相次ぎ、地域社会に大きな影響を及ぼしました。こうした災害の頻発が当たり前となった今、地域の暮らしを守るためには、平時からの「備え」がこれまで以上に重要であることを痛感しております。

私たち建設コンサルタントは、道路や河川、橋梁、港湾など、社会を支えるインフラの計画・調査・設計に携わり、地域の基盤を支える専門家として、皆様の安全と安心を下支えする使命を担っています。普段の生活では目に触れにくい業務ではありますが、地域社会の持続性に直結する重要な役割を果たしていると考えております。

一方で、少子高齢化に伴う担い手不足やインフラの老朽化など、私たちを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。こうした課題に対応しながら、地域を将来にわたり住み続けられる場所として守っていくためには、新しい技術を積極的に取り入れ、効率的で質の高い業務を進めていくことが求められています。

その鍵となるのが「DX（デジタルトランスフォーメーション）」です。ドローンによる高精度な地形計測や三次元データの活用など、現場の姿は大きく変わりつつあり、これらの技術は迅速で正確な情報取得を可能にするだけでなく、災害への備えにも大きく寄与しています。当社でも、こうした技術の導入と並行して、人材育成や働きやすい環境づくりを着実に進めてまいります。

特に本年は、「現場のデジタル化」と「事務のデジタル化」をさらに加速させ、地域社会への貢献を高めるとともに、社員一人ひとりが誇りを持って働ける会社づくりを目指して取り組んでまいります。技術の進歩に的確に対応しながら、暮らしを支える仕事を確かなものとして積み重ねていく所存です。

結びとなりますが、本年が皆様にとって健やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

株式会社米子しんまち天満屋

取締役店長 井上 繁昭

新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げますとともに、旧年中弊社に賜りましたご愛顧に対し、心より御礼申し上げます。この新しい年が皆様にとりまして、健やかで、希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げます。

昨年、弊社グループの中核企業である㈱天満屋は、百貨店として事業を行い「100周年」、弊社においては、米子にお店を構え「35周年」の節目を迎えることができました。これもひとえにお客様、地域の皆様、そして共に歩んでくださいましたお取引先様や従業員の支えのおかげです。深く御礼申し上げます。

昨年は、大きく社会が変化していく中、これまでの地域の皆様からの信頼を基盤に、「地域になくってはならない百貨店に向けて未来を描き成長を続ける」ことへチャレンジしてまいりました。例えば、「創業35周年」を切り口にした様々なイベントへの取り組みでは、記念美術催事やアニメ・映画コンテンツ、食の物産展など幅広い層のお客様への発信を行いました。また昨年を「教育元年」と位置づけ、CS向上に向けた研修体制の整備、社内資格制度の取得推進などお客様満足向上へ取り組みました。地域の良い商品・良い文化の発信を行う活動では、地元作家様、事業者様を紹介する催事企画、「アンテナショップ」ととりおかやま館」の運営を通じ、鳥取県産品の販売・宣伝活動など、今まで以上に親しみを持っていただけのお店づくりを心掛けてまいりました。

「優良商品の販売を通じて、地域社会の生活・文化の向上に寄与する」という弊社の経営理念を大切に、今まで以上に地域の皆様のお役に立てる提案ができるように取り組みを進めてまいります。

今後、創業40・50周年に向けよりよいお店であり続けるため、これからも地域の皆様から愛され、必要とされる存在となれるように、従来の価値観を大切にしつつ、新たな価値創造に積極的に取り組んでまいります。従業員一同真摯に取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧いただきますよう謹んでお願い申し上げます。

新年のご挨拶

医療法人・社会福祉法人 真誠会

理事長 前田 浩寿

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年より受託いたしました米子市 福米・福生地域の二つの地域包括支援センターでは、地域の皆様に温かく迎え入れていただき、無事に活動を開始できましたことを深く感謝申し上げます。誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりという使命に向かい、これからも「地域第一」を貫き、時代に応じた医療・介護サービスの充実に全力で取り組んでまいります。

また、地域の多様な取り組みがより広く伝わるよう、わこう前交差点に設置したデジタルサイネージを活用した活動促進事業をさらに強化し、地域情報の発信力向上に努めてまいります。加えて、令和9年4月開設予定の給食工場計画を推進し、利用者の皆様が米子市内の飲食店の一品料理を取り入れた給食を楽しんでいただけるよう、新たな食の魅力づくりにも挑戦してまいります。

さらに、施設老朽化への対応として、順次大規模改修を進め、入居者の皆様に長く安心してご利用いただける環境整備を図っております。大崎および河崎の施設には放射性物質防護対策工事を施しており、有事のシェルター機能に加え、快適性にも十分配慮した空間づくりを重視しております。

本年も地域に寄り添い、医療・介護・地域づくりを一体として推進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年 元旦